

## 2012年7月3日開催 第570回 番組審議会

### ■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員  
佐藤卓己委員 佐藤友美子委員(書面) 東野博昭委員 若菜英晴委員

### ■ 毎日放送出席者

河内社長 松島専務 榎本常務 豊田取締役 河村取締役 梅本取締役 東取締役  
立野コンプライアンス室長 泉報道局長、橋本プロデューサー

### ◆ 審議事項

西日本8局特番「鳥越俊太郎のがん医療最前線～「生きる」を支える人々～」  
(放送:5月4日(金)午前9:55～10:50)について意見を交換した。

### 各委員の主な意見は次の通り。

- \* プライバシーの問題とか、家族や本人の了解やら、もちろん気持ちをくみ取って、取材するのが大変だったと思うが、全体に非常にいい番組だった。
- \* 啓蒙的な番組で、内容は非常によかったと思う。セクションごとにメッセージを織り込んでいくスタイルのほうが、キャンペーン番組としてはよかった。
- \* 報道として伝えたい部分と、患者さんの家族への配慮をどこまでするかというのは、注意深くディスカッションしてからやって欲しい。
- \* エリアを超えて情報を得たということでも視聴者にとって大変有意義な報道だった。各地域で命とか医療を支えている方々を紹介するということは、メディアの役割として、こういう人たちを元気づけることはとても大事だと改めて感じた。
- \* オムニバス形式になると、完成した時に「ばらばら感」みたいなものが出ないかという心配もあるが、それは感じなかった。最後まで見させるための工夫では、何かひと工夫欲しかった。

- \* がんを経験している鳥越さんが、コメンテーターで入ったことで、ぎゅっとまとまっていた。貴重な情報がたくさん発信されたという意味で、全体的にはとてもいい番組だ。
- \* がんになった人自身だけでなく、支える人たちに焦点を当てたことで、新しい可能性を発見することが出来た。地域に密着した地方テレビ局ならではの現場に注目したことで、身近なこととして受け止めることができた。
- \* がんというテーマに対してそれぞれの局がそれぞれの特徴をよく発揮していた。番組の内容、質の点でも、がんに対する視野がだんだん広がる思いがした。励ましをもらった視聴者もきつというんじゃないか。

◆ 報告事項

6月21日(木)夜のローカル放送のニュースで、警察手帳を偽造した大阪府警の元警察官が有罪判決を受けたというニュースを放送したが、被告の映像とした人物が、別の徳島県警で同種の事案を起こした元警察官の映像であった。この為、22日(金)昼のローカルニュースの中で、訂正放送を行った。以上の内容について、コンプライアンス室長が審議会に報告した。

以上